

平成26年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)発展編  
【利用者調査に関する研修～高齢分野～】

(公財)東京都福祉保健財団 18階 研修室1・2

《担当講師》

日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 准教授：下垣 光氏  
特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち 理事長：林田 俊弘氏  
株式会社日本生活介護 評価室長：渡辺 真紀氏

《時間割》

| 時 間        | 科 目   |
|------------|---|
| 10:00<br>～ | 10分 開講挨拶<br>公益財団法人 東京都福祉保健財団<br>福祉情報部長 中村 佳市  |
| 10:10<br>～ | 30分 ○オリエンテーション<br>・グループ内自己紹介<br>・この研修で学びたいことの表明   |
| 10:40<br>～ | 60分 ○講義<br>「東京都福祉サービス第三者評価における利用者調査の意義」   |
| 11:40      | 60分 休 憩   |
| 12:40<br>～ | 260分 ○講義・演習<br>「聞き取り調査技法を習得する」<br>・高齢者の特性を理解する<br>・利用者に合ったコミュニケーション方法について学ぶ<br><br>*途中、休憩あり(各10分程度) |
| 17:00      | 終了  |

- ★ 休憩については、進行状況に応じて、講師より適宜案内いたします。
- ★ 時間の都合により、ワークの省略等、カリキュラムが変更する場合があります。

《配付資料》

- (1) 講義資料
- (2) ロールプレイ演習説明シート
- (3) ロールプレイ振り返りシート(個人メモ用)
- (4) アンケート用紙

- ※ 配付資料以外に『東京都福祉サービス第三者評価ガイドブック2014』を使用します。
- ※ アンケートに御協力ください。(お帰りの際にアンケート回収ボックスへの提出をお願いします。)

平成26年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)発展編  
【 利用者調査に関する研修 ～高齢分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団 18階 研修室1・2

《担当講師》

特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち 理事長：林田 俊弘 氏  
株式会社日本生活介護 評価室長：渡辺 真紀 氏  
東京都福祉サービス評価推進機構 推薦講師：白土 有希子 氏、吉田 紅愛 氏

《時間割》

| 時 間        | 科 目  |
|------------|--|
| 10:00<br>～ | 5分 事務連絡  |
| 10:05<br>～ | 160分 ○講義・演習<br>「場面観察方式の基本的な考え方、調査手法を理解する」<br>・場面観察方式設定の経緯と意義について<br>・場面観察方式の実施方法について<br>・利用者の意向発信(サイン)を見出す難しさについて<br><br>*途中、休憩あり(10分程度) |
| 12:45      | 60分 休 憩  |
| 13:45<br>～ | 195分 ○講義・演習<br>「場面観察方式の調査の流れを体感する」<br>・個人調査シート作成のポイントについて<br>・個人調査シート作成をもとに合議を行うポイントについて<br><br>*途中、休憩あり(15分程度)                          |
| 17:00      | 終了   |

- ★ 休憩については、進行状況に応じて、講師より適宜案内いたします。
- ★ 時間の都合により、ワークの省略等、カリキュラムが変更する場合があります。

《配付資料》

- (1) 講義1「場面観察方式設定の経緯と意義について」
- (2) 講義2「場面観察方式の実施方法について」 + 場面観察方式 標準調査票
- (3) 講義3「利用者の意向発信(サイン)を見出す難しさについて」
- (4) 研修2日目ワーク① 説明資料
- (5) ワークシート①②
- (6) 場面観察方式による調査の結果の導き出し方について
- (7) 場面観察方式 調査結果記載シート(個人メモ用)
- (8) アンケート用紙

- ※ 配付資料以外に『東京都福祉サービス第三者評価ガイドブック2014』を使用します。
- ※ アンケートに御協力ください。(お帰りの際にアンケート回収ボックスへの提出をお願いします。)

平成26年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)発展編  
【 利用者調査に関する研修 ～高齢分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団 18階 研修室1・2

《担当講師》

日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 准教授：下垣 光氏  
特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち 理事長：林田 俊弘氏  
株式会社日本生活介護 評価室長：渡辺 真紀氏

《時間割》

| 時 間        | 科 目   |
|------------|---|
| 10:00<br>～ | 10分 開講挨拶<br>公益財団法人 東京都福祉保健財団<br>福祉情報部長 中村 佳市  |
| 10:10<br>～ | 30分 ○オリエンテーション<br>・グループ内自己紹介<br>・この研修で学びたいことの表明   |
| 10:40<br>～ | 60分 ○講義<br>「東京都福祉サービス第三者評価における利用者調査の意義」   |
| 11:40      | 60分 休 憩   |
| 12:40<br>～ | 260分 ○講義・演習<br>「聞き取り調査技法を習得する」<br>・高齢者の特性を理解する<br>・利用者に合ったコミュニケーション方法について学ぶ<br><br>*途中、休憩あり(各10分程度) |
| 17:00      | 終了  |

- ★ 休憩については、進行状況に応じて、講師より適宜案内いたします。
- ★ 時間の都合により、ワークの省略等、カリキュラムが変更する場合があります。

《配付資料》

- (1) 講義資料
- (2) ロールプレイ演習説明シート
- (3) ロールプレイ振り返りシート(個人メモ用)
- (4) アンケート用紙

- ※ 配付資料以外に『東京都福祉サービス第三者評価ガイドブック2014』を使用します。
- ※ アンケートに御協力ください。(お帰りの際にアンケート回収ボックスへの提出をお願いします。)

平成26年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)発展編  
【 利用者調査に関する研修 ～高齢分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団 18階 研修室1・2

《担当講師》

特定非営利活動法人ミニケアホームきみさんち 理事長：林田 俊弘 氏  
株式会社日本生活介護 評価室長：渡辺 真紀 氏  
東京都福祉サービス評価推進機構 推薦講師：白土 有希子 氏、吉田 紅愛 氏

《時間割》

| 時 間        | 科 目  |
|------------|--|
| 10:00<br>～ | 5分 事務連絡  |
| 10:05<br>～ | 160分 ○講義・演習<br>「場面観察方式の基本的な考え方、調査手法を理解する」<br>・場面観察方式設定の経緯と意義について<br>・場面観察方式の実施方法について<br>・利用者の意向発信(サイン)を見出す難しさについて<br><br>*途中、休憩あり(10分程度) |
| 12:45      | 60分 休 憩  |
| 13:45<br>～ | 195分 ○講義・演習<br>「場面観察方式の調査の流れを体感する」<br>・個人調査シート作成のポイントについて<br>・個人調査シート作成をもとに合議を行うポイントについて<br><br>*途中、休憩あり(15分程度)                          |
| 17:00      | 終了   |

- ★ 休憩については、進行状況に応じて、講師より適宜案内いたします。
- ★ 時間の都合により、ワークの省略等、カリキュラムが変更する場合があります。

《配付資料》

- (1) 講義1「場面観察方式設定の経緯と意義について」
- (2) 講義2「場面観察方式の実施方法について」 + 場面観察方式 標準調査票
- (3) 講義3「利用者の意向発信(サイン)を見出す難しさについて」
- (4) 研修2日目ワーク① 説明資料
- (5) ワークシート①②
- (6) 場面観察方式による調査の結果の導き出し方について
- (7) 場面観察方式 調査結果記載シート(個人メモ用)
- (8) アンケート用紙

- ※ 配付資料以外に『東京都福祉サービス第三者評価ガイドブック2014』を使用します。
- ※ アンケートに御協力ください。(お帰りの際にアンケート回収ボックスへの提出をお願いします。)